

スペクトラムデジタル社 XDS560v2STMTR TI 社 Code Composer Studio インストールガイド

第 1a 版 2013.7



株式会社 ロイノス DSP 開発ツール

Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682

URL : www.roinos.com Email : tool@roinos.com

複製禁止

ROINOS

目次

1. まえがき	1	8. CCS の設定と起動	6
2. システム要件	1	8.1 DSK6713 の例	6
3. 取り扱い上の注意事項と保証期間	1	9. 故障対応	8
4. 梱包内容	2		
5. Code Composer Studio のインストール	2		
5.1 CCS Ver 4 または Ver 5 の場合	2		
5.2 CCS Ver4 アップデートソフトの入手	4		
6. エミュレータの組み立て	5		
6.1 ターゲットアダプタ	5		
7. XDS560V2 の認識	5		
7.1 ホストとの接続	5		
7.2 LED の内容	5		

1. まえがき

Spectrum Digital 社エミュレーションシステムとテキサス・インスツルメンツ社 Code Composer Studio を組み合わせて使用することで実機のエミュレーションを行うことができます。

- テキサス・インスツルメンツの DSP の JTAG インターフェイス(IEEE 1149.1)をサポートしています。
- 14 ピンおよびシュリンク 20 ピンの JTAG ヘッダーに付属の変換器で対応できます。
- 高性能エミュレーションコントローラで高性能を実現。
- MIPI システムトレース機能も装備
- ホスト PC と USB2.0 で通信出来ます。
- +1.2V から+4.1V までの JTAG I/O 電圧対応
- 電源表示 LED あり
- 運用状況表示 LED 6 個
- リセットスイッチ
- USB バスパワー動作
- テキサス・インスツルメンツの Code Composer Studio, DSP BIOS、RTDX に対応
- Windows 7/Vista/XP 対応

本書では Code Composer Studio を CCS、テキサス・インスツルメンツ社を TI と称する場合があります。

本書は簡潔にわかりやすく、設定からデバッグ開始までの作業ができるまでを解説したつもりです。エミュレータの機能やユーティリティソフトはまだまだ解説しきれておりません。必要に応じてメーカー作成のマニュアルをご覧ください、より深い使用方法を習得してください。

2. システム要件

エミュレータと TI の CCS、JTAG 接続の DSP ターゲットボードを使用する方を主な対象としています。ホストパソコンに必要な条件は下記の通りです。

- ▲ Windows の走る IBM PC/AT 互換機
- ▲ Windows 7/Vista/XP
- ▲ HDD 2GB 以上の空き
- ▲ 最低 1GB の RAM、2 GB 推奨
- ▲ 1.5 GHz の CPU、デュアルコア推奨
- ▲ カラーディスプレイ
- ▲ インターネット接続環境
- ▲ USB ポート

3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

製品は、実用性を踏まえつつ設計されておりますが、

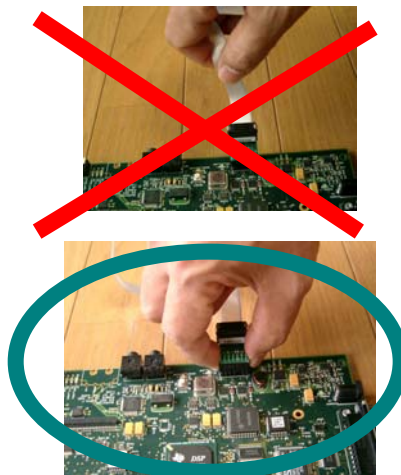
機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には**機械的衝撃を与えない、ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)をかけないように**お願いします。**JTAG ケーブルで POD 本体をぶら下げて使用すると JTAG ケーブルの痛みが非常に早くなりますのでおやめ下さい。**

ターゲットの電源とホスト PC の電源はできるだけ近くからとり、フレームグラウンドの電位差が発生しないようにして下さい。電位差がある状態で JTAG の端子を挿抜しますと、機器が破壊されるおそれがあります。また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、フレームグラウンドの電位差による**循環電流を流さないように**ホストパソコンとターゲットボードのグラウンドはエミュレータとは別に導線で常時接続することをお勧めします。

また、製品の保証期間は一年間で、その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。その期間を過ぎた場合には実費の修理となります。もし敢えてサポート無しの条件で購入された場合には保証は付きません。

ロイノスでは 1 年を超えた後でも、有料にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web あるいは営業までお問い合わせ下さい。

かならず JTAG コネクタのシェルをつまんで、丁寧に付け外しするようにしてください。



(写真は XDS560V2STB ではございません)

4. 梱包内容

製品の箱の中に以下のものがあることをお確かめ下さい。

- (1) 本体
- (2) ドライバ・文書 DVD
- (3) USB ケーブル
- (4) アダプタ CTI20-TI14

5. Code Composer Studio のインストール

CCS をインストールしていない場合はインストールします。CCS をすでにインストールしている場合、本章は読み飛ばしてください。

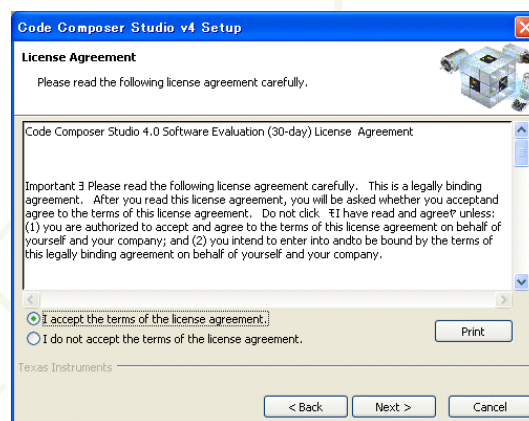
5.1 CCS Ver 4 または Ver 5 の場合

DVD-ROM もしくはバージョンアップの権利を利用して入手したダウンロード済みファイルを実行してインストールして下さい。(下記説明は Ver4 です。)

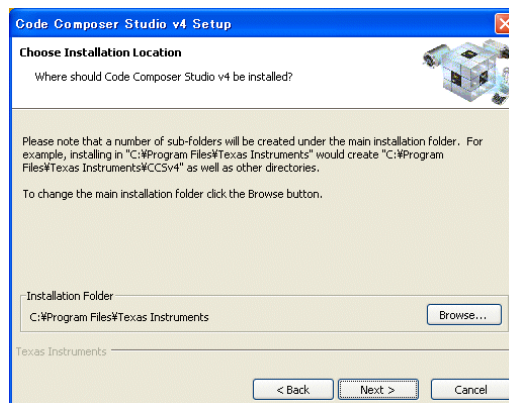
- (1) Welcome ... の画面では **Next>** を押して下さい。



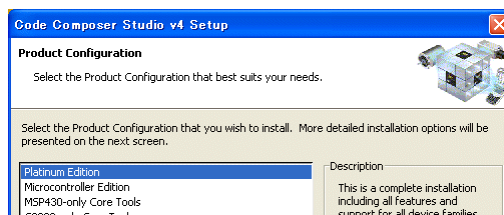
- (2) License agreement 画面では内容をご確認の上 **I accept...** を選んでから **Next>** を押して下さい。



- (3) Choose Installation Location では CCS のインストールフォルダを決定の上 **Next>** を押して下さい。

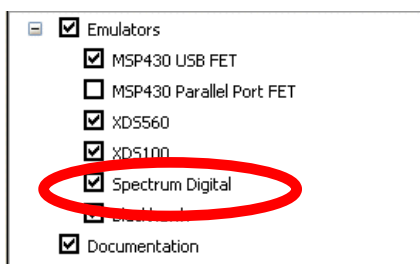
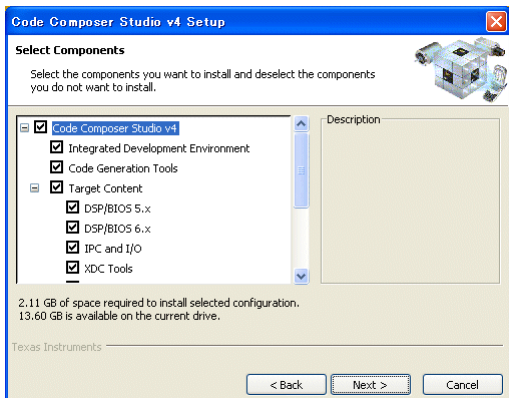


- (4) Product Configuration では **Next>** を押して下さい。

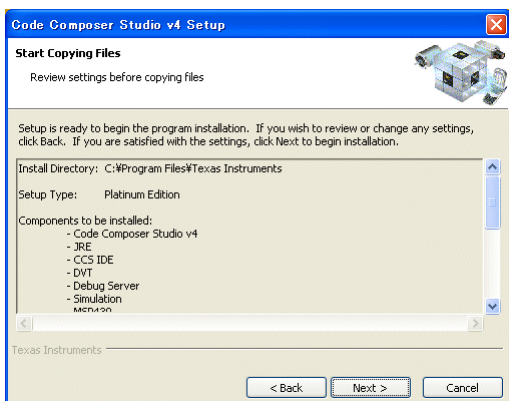


- (5) Select Components ではインストールしたい機能を選択の上 **Next>** を押して下さい。その際、Emulators

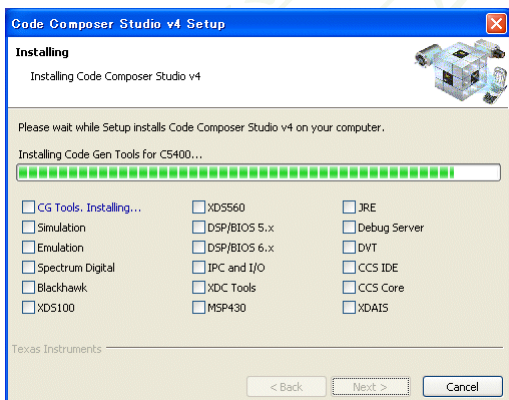
のグループの Spectrum Digital にチェックが入っている必要があります。



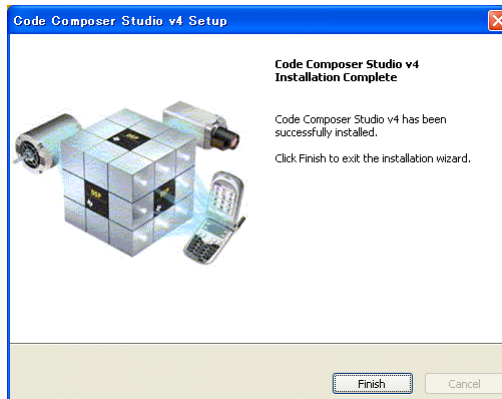
(6) Start Copying Files では **Next** を押して下さい。



進捗が表示されつつ、インストールが行われます。

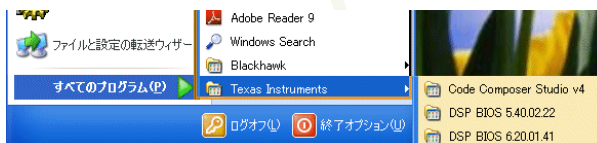


下記画面が現れたら **Finish** を押して下さい。



インストールが終わったら一旦再起動して下さい。

(7) CCS の開始は下記のようにすればできますが、現在はまだエミュレータの準備ができていませんので、つぎにエミュレータを認識させます。



(8) TI の下記ページを参考にして CCS のユーザー登録をして、さらに正式なライセンスファイルを手続きして、PC に正しく保管してください。

<http://www.tij.co.jp/dsp/jp/docs/dspsplash.tsp?contentId=37322>

これによってライセンスが有効期限の心配をすることなく使用できます。

補足 : Windows7

互換性の問題で動かない場合には CCS の実行ファイルのプロパティを変更し、Windows xp 互換で動作するようにさせてください。